

帝人株式会社 ■ コーポレートコミュニケーション部

●東京本社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 霞が関コンゲート西館 TEL.03-3506-4055 FAX.03-3506-4150
●大阪本社 〒530-8605 大阪市北区中之島3丁目2番4号 中之島フェスティバルタワーウエスト TEL.06-6233-3413 FAX.06-6233-5040
●URL <https://www.teijin.co.jp>

2024年4月10日

ナルコレプシー治療薬の候補化合物に関する 独占的ライセンス契約を締結

帝人ファーマ株式会社

帝人ファーマ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：種田 正樹）は、このたび、フランスの製薬企業である Bioprojet（本社：フランス パリ、社長：Jean-Guillaume Lecomte、以下、BP社）に対し、自社が創製したナルコレプシー治療薬の候補化合物に関する全世界における独占的開発・製造・販売の権利を供与するライセンス契約を締結しました。

1. 背景・経緯

- ナルコレプシーは、睡眠と覚醒のサイクルをコントロールする神経伝達物質であるオレキシンの欠乏などにより、日中に過度な眠気や情動脱力発作が出現し、日常生活に重大な支障をきたす睡眠障害です。有病率は10万人当たり25人から50人ほどとも言われており、現在は、日中の眠気を軽減する治療として、覚醒状態を維持する薬剤などが使用されています。
- BP社は1982年に設立されたフランスの製薬企業で、神経や免疫・アレルギー、希少疾患などの領域で医薬品の研究開発および販売を行っています。すでに海外において広く使用されているナルコレプシー治療薬であるヒスタミン H3 受容体阻害薬「Pitolisant」（販売名：Wakix[®]）を主力製品として展開しています。
- 当社は、自社が創製した候補化合物を、ナルコレプシー治療薬の開発、販売実績を持つBP社へライセンスすることが、世界中の患者さんのQOL向上に最も貢献出来ると考え、このたびの契約を締結しました。

2. 一般の契約について

- 今般ライセンスするのは、当社の医薬品の研究拠点である生物医学総合研究所（東京都日野市）において創出した選択的オレキシン2受容体作動薬の候補化合物です。オレキシン2受容体へ結合することでオレキシンの欠乏を補い、ナルコレプシーの諸症状を改善することが期待されています。
- 当社は候補化合物の全世界における独占的な開発・製造・販売権をBP社に供与し、契約一時金として30百万米ドルを取得します。また、今後、開発の進捗および売上の目標達成に応じた各マイルストーン収入の総額としておよそ4億米ドル、ならびに売上に応じたロイヤリティ収入を受け取る権利を有します。

帝人のヘルスケア事業は、在宅医療の事業基盤を基にして希少疾患の患者さんを支える事業モデルへの改革を進めています。創薬においても、他社への導出や提携によって世界中の患者さんに治療薬を届けることで、社会へ貢献することを目指していきます。

以上

【 当件に関するお問合せ先 】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL: (03) 3506-4055